

2級 実技(論述)試験 解答用紙

No. 001	Aグループ	年月日	令和3年6月13日(日)
---------	-------	-----	--------------

「逐語記録」を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

会社の雇用の継続が難しいという噂もあったが、自分は大丈夫と他人事のように思っていたのに、急に関連会社へ出向の内示が出てショックを受けている。機械いじりが好きで、今の仕事にとっても満足しており、やりがいをもって頑張ってきた。現場でずっと機械を相手に仕事をしてきたし、人付き合いも得意な方ではないので、急に課長補佐と言われても務まる自信がなく、不安を感じており、どうしたらよいのかわからないことが問題である。

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

(1) 他人事と思っていたのに、突然の出向の話でショックを受けており、自分がどうして課長補佐として出向になるのか、自己理解の不足が考えられる。(2) 出向先の課長補佐の仕事がどのような役割で、どのような事を期待されているのか仕事理解が不足していると思われる。(3) 手放しで喜んでいる妻を見ていると何も言えなくなるという、家族とのコミュニケーションの不足もあると考えられる。

問題3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どういうことを実施したいか。目標と具体的な方策を記述せよ。(60点)

- ①(目標) (1) 今までの職務経歴の棚卸しをして、強み弱みの確認をして、出向先でも使えるスキルがないか考える。(2) 自分がどうして課長補佐としての出向に推薦されたのか、出向先の期待役割を確認し、自己理解、仕事理解を深める。(3) 家族とコミュニケーションをとり中長期的なプランを検討する。
- ②(方策) (1) 危険も伴いながらも、やりがいをもって頑張ってきた今までの努力を労い、冷静に今後を考えられるように促す。(2) これまでの職務経歴の棚卸しを一緒に行い、得意不得意の見直しをする。(3) 上司とコミュニケーションをとるように促し、どうして自分が課長補佐として推薦されたのか更に自己理解を高め、自信を取り戻してもらう。
- (4) 上司に出向先で期待されている役割を確認して、先ほど棚卸しをしたスキルで、今後も使えそうなスキルがないか一緒に確認をする。(5) どうしたら妻と話ができそうか相談しながら、コミュニケーションを取ることを促し、家族とのライフプランを含めた中長期的なキャリアプランをたてるように促す。以上の方策から、相談者自身が自律的に意思決定し、やりがいを持って仕事ができるように支援する。

注：解答は設問ごとに、枠内に記述してください。裏面および枠外に記述されたものは採点されません。
2級実技(論述) 解答用紙 1.1